

# アグリ筑西 2023春 特別号



HP



県西農林事務所 経営・普及部門  
(筑西地域農業改良普及センター)  
筑西地域農業改良推進協議会 発行  
Tel : 0296(24)9206  
Fax : 0296(24)6979

新

## シリーズ「農業経営者に訊く」Vol.1



### (株)五郎助農場 安達康晴氏(筑西市)

あだち・やすはる：筑西市で水稻、ソバ、麦、ネギ等のべ100haの経営を展開する(株)五郎助農場(R3年に法人化)に令和3年に入社。現在、法人の継承候補者として、栽培管理全般を担う。

#### ●経営の特徴を教えてください

代表を務める高島健二が1980年代前半に集落の農家で営農組合を結成し、地域の農地を借りて米や麦の規模を拡大してきました。現在では140名を超える地権者から農地を任せられ、経営面積が100haを超えています。米、ソバ、麦、大豆の普通作部門に加え、近年は園芸部門のネギを取り入れ、経営の安定化を図っています。

#### ●経営における課題は何ですか

ネギの生産安定化が一番の課題です。薬剤散布のタイミングが少しずれただけで、害虫の被害が一気に増加するので手が抜けません。また薬剤散布のタイミングに加え、抵抗性を回避したり、効果的な薬剤を選定していく選択眼も必要です。年間の作業体系の中で、ネギを観察する時間をいかにして確保していくかは自分自身の最重要課題ですね。また、現在は3名の技能実習生を活用していますが、あと1名、自分の右腕となる従業員が欲しいですね、できれば

日本人。新農業人フェアなどに参加して従業員を募集をしていますが、自分のところにはなかなか来てくれなくて(笑)。

#### ●継承候補者としてプレッシャーもあるのではないのでしょうか

サラリーマン時代に新潟県の田園風景を車窓から眺めていた時に「ビビッ」と感じるものがあつたんです。これからは農業なんだと。それから縁があつて高島代表のところまで農業を始めることになったのですが、高島代表の「地域農業を守っていくことが使命」という経営理念に共鳴しましたね、完全に。僕は地元も筑西市なので何かの形で地元へ貢献したいという思いが強かつたんです。なので今は迷いはないですね。プレッシャーがないといえば嘘になりますが、今は、目の前のことを一つ一つこなしていくことに必死です。あとは自然になんとかかなるでしょう。それに高島代表のことをリスペクトしていますしね。

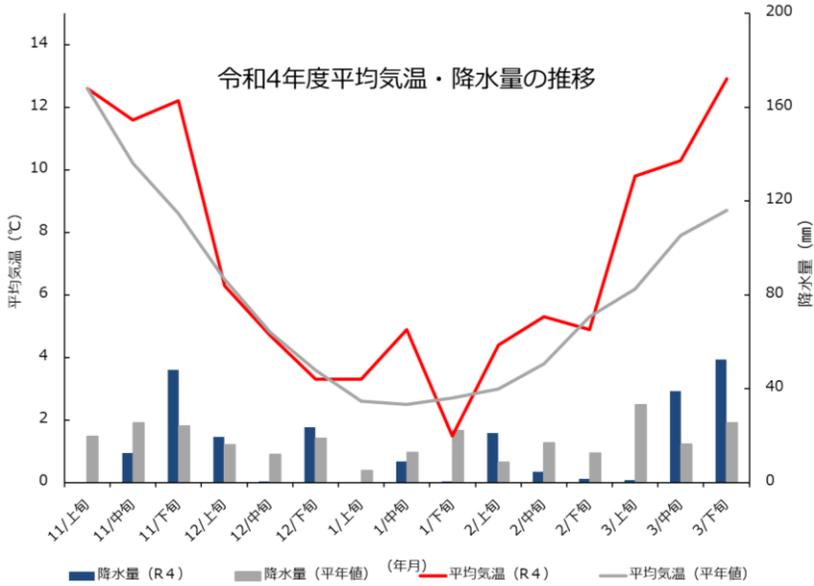
貴重なご意見を訊かせいただきありがとうございました。  
これからも農業経営者として地域を牽引して行ってください。

# 特集！気象災害に負けるな！

近年、冬季の気温が高く作物の生育が早まっています。生育に合わせた管理を徹底しましょう。

## 1 平年より高い気温 冬季(11~3月)の旬別平年比推移グラフ

気温が平年値より**1.3℃**高く、作物の生育も前進化しています。



	平均気温		降水量	
	R4年度	平年	R4年度	平年
11/月上旬	12.6	12.6	0	19.6
11/月中旬	11.6	10.2	12.5	25.5
11/月下旬	12.2	8.6	48	24
12/月上旬	6.3	6.5	19.5	16.2
12/月中旬	4.7	4.8	0.5	11.9
12/月下旬	3.3	3.6	23.5	18.8
1/月上旬	3.3	2.6	0	5.1
1/月中旬	4.9	2.5	9	12.9
1/月下旬	1.5	2.7	0.5	22.3
2/月上旬	4.4	3	21	8.6
2/月中旬	5.3	3.8	4.5	17.1
2/月下旬	4.9	5.3	1.5	12.7
3/月上旬	9.8	6.2	1	33.2
3/月中旬	10.3	7.9	39	16.4
3/月下旬	12.9	8.7	53	26
11~3月平均	7.2	5.9	233	270

(注)      : 平年値を上回った月。  
平年値 : 1991年から2020年の30年平均値

## 2 高温対策



茨城県農業総合センター資料から引用。  
令和5年3月15日掲載「早春の高温における作物管理」  
←詳しくはHPをチェック！

### 水稲

・育苗期、もみ枯細菌病等の病害、苗の徒長やヤケ苗が発生しやすくなるため、**30℃以上の高温**や多湿にならないように早めのハウス換気を心掛けましょう。また、夜間は10~15℃を目安として管理しましょう。

### 露地野菜

・苗の定植時、土壌の乾燥が続く場合には、降雨後の定植や苗の活着促進のために定植後に株元へのかん水を行いましょ。害虫の多くなる季節ですので、早期防除に努めましょ。

### 施設野菜

・施設内温度や土壌水分の適正管理に留意ましょ。害虫の多くなる季節ですので、早期防除に努めましょ。また、日射が強くなってくる時期ですので遮光等を活用して日焼け防止に努めましょ。

## 参考：過去の教訓から学ぶ

筑西普及センター管内における主な気象災害

年	月日	災害名	品目	被害面積 (ha)
H28	8/22	台風	ソバ、大豆、水稲	544
H29	5/18、6/16、9/18、9/25、10/23、10/30	降ひょう、台風	葉タバコ、野菜	1,042
H30	9/4、10/1	台風	梨、野菜	3,012
R1	(被害無し)			
R2	3月下旬、4月	低温	梨	92
R3	(被害無し)			
R4	5/21、5/27	降ひょう及び強風	梨、ブドウ、キュウリ	22

(注) 被害面積、被害金額は、県西全域の値。

※筑西管内の主な災害は、晩霜(4月)、降ひょう(5~9月)、台風(8~10月)。

特にR2年には梨を中心に92ha、約2億円の被害がありました。



### 3 ナシの開花前進と今後の管理作業

#### 開花の前進状況

「幸水」の満開日は、3月の高温の影響で、**平年より7~8日早まり、これまでで最も早い開花となりました**（表1）。通常、開花の早い年は満開後1カ月程度の平均気温が低く、収穫までの必要日数が長くなる場合も多いのですが、今年は満開後も平均気温が高く推移していますので、収穫時期も平年より大きく前進する可能性があります。

表1 ナシ「幸水」、「恵水」の満開日（筑西地域全体の平均値）

品種	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 (平年差)	平年値 (2013~2022年)
幸水	4/9	4/18	4/10	4/7	4/13	4/5~6 (7~8日早)	4/13
恵水	4/9	4/20	4/12	4/7	4/15	4/7 (8日早)	4/15

#### 適期病害虫防除の励行

開花が大きく前進したことで、病害虫防除のための薬剤散布も生育ステージに合わせて実施する必要があります。昨年の作業記録日を参考に薬剤散布のスケジュールを組むと、防除適期を逃してしまう可能性があります。意識して計画的な防除を行いましょう。

#### 降雹害への対策

今年も、**3月30日、4月16日に管内の一部地域で降雹**がありました。降雹はほんの数分間で大きな減収に直結しかねない気象災害です。一方、降雹は多目的防災網の展張により、ある程度回避できる災害でもあります。積極的な多目的防災網導入について、産地全体で気運を高めていければと思います。今後も降雹に注意が必要な時期が続きます。万全の対策で臨みましょう。



降雹により陥没した果実（左）

### 4 赤かび病防除対策について

冬季の高温に伴い、麦類の出穂期も早まることが予想されます。赤かび病菌は人体に有害な「かび毒」を産出するため、麦類の農産物検査時の赤かび粒の混入限度は0.0%とされています。出穂期および防除適期は麦種や播種期によって異なるため、圃場ごとに出穂状況を確認して適期防除を心掛けましょう。

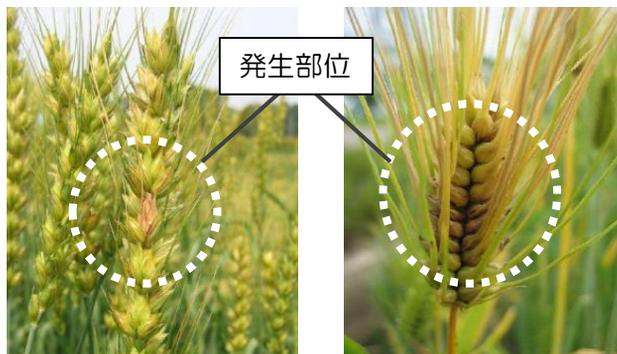
「麦類のかび毒汚染低減のための生産工程管理マニュアル」（農研機構HP）→



筑西市の小麦における出穂予測日および赤かび病防除適期予測

地区	品種	播種日	出穂予測日	防除適期予測
筑西市田谷川	さとのそら	11/11	4/11	4/18~4/21
筑西市協和	さとのそら	11/20	4/14	4/21~4/24
筑西市協和	さとのそら	12/3	4/21	4/28~5/1
筑西市協和	さとのそら	12/20	4/25	5/2~5/5
筑西市田谷川	ゆめかおり	11/18	4/18	4/25~4/28
筑西市明野	ゆめかおり	12/4	4/25	5/2~5/5

注) 出穂予測日および防除適期予測は4月6日時点での予測日



コムギ赤かび病

オオムギ赤かび病

茨城県農業総合センター病害虫防除部 提供

#### 六条大麦の防除適期

開花を確認した日（出穂期の3日後頃）

#### 二条大麦の防除適期

穂から葯殻が出ていることを確認した日（出穂期の12~14日後頃）

出穂期

3

7

10

12

14

#### 小麦の防除適期

開花始期~開花期  
(出穂期の7~10日後頃)

※出穂期：圃場全体の40~50%が出穂した日

※出穂期は麦種や播種期によって異なる

# かんしょ生産拡大を 支援しています！

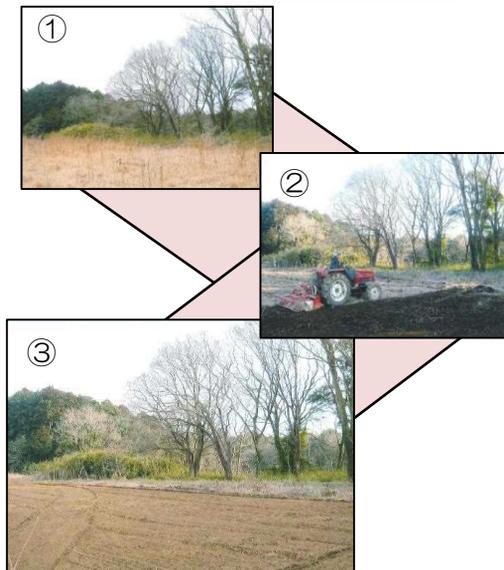


筑西市井上では、「井上さつま」がベテラン農家により生産されています。最近では、「かんしょトッパー産地拡大事業（令和元年度～）」を活用して、下妻市、桜川市でも徐々に作付けが拡大しております。

事業では、かんしょの生産拡大を支援するため、荒廃農地等を再生して作付ける取組や、必要となる機械導入に対して助成を行っております。

収量が思うように取れるのか不安な方、栽培方法を知りたい方、今まで取り組まれたことがない方、規模を拡大したい方がいらっしゃいましたら、気軽に筑西普及センターまでご相談ください。

荒廃農地再生作業の様子



いままさら聞けない！！  
農業の専門用語

引用  
「だれでもできる土壌診断の読み方と肥料計算」  
「今さら聞けない肥料の話」  
「肥料便覧」

## 肥料三大要素の1つ 「K」の役割って??

肥料三大要素の1つ、「カリウム（以下K）」は、別名『**根肥料**』と呼ばれています。今回はこのKの役割についてまとめてみました。

Kが根肥料と呼ばれる理由の一つとして、セルロースやリグニンなどの細胞壁物質の合成を盛んにし、風による倒伏を防いだり、病気に対する抵抗性を高める作用があります。また、養分転流も盛んにする元素であり、光合成産物の転流を促進することで、収量の向上にも影響します。

K欠乏は、古い葉の先端から縁にかけて黄色くなり、やがて緑が枯れてきます。Kは植物体内で移動しやすい成分なので、古い葉から症状があらわれます。また、Kはぜいたく吸収のため、K過剰は拮抗作用によりカルシウムやマグネシウムの吸収を抑制します。

表1 カリウムに関する生理障害について

	主な生理障害
欠乏	青枯れ・赤枯れ（水稻）、葉緑焼け（キュウリ）、スジ腐れ（トマト）
過剰	マグネシウム欠乏

県内の農地では、野菜類や果樹のほ場中心にリン酸やKが過剰に蓄積しているほ場の割合が多くなっています。作付け前に土壌診断を実施し、改善基準値の上限を超えている場合は基肥のリン酸、Kの減肥が可能です。硫酸等の単肥や低PK肥料を組み合わせることで、肥料費のコスト低減が可能です。ぜひ普及センターの土壌診断をご活用ください。

## 令和5年度経営・普及部門 （普及センター）新体制

☆印は今年度赴任した職員

部門長  
岡部 克（花き）☆

### 経営課（全域担当）

課長 一家伴安（果樹）  
主査 中島佳功（作物）  
専門員 萩原 愛（野菜）  
専門員 遠藤優子（経営）  
会計年度職員 佐々木栄子

### 地域普及第一課（筑西市担当）

課長 祝園真一（果樹）  
副主査 駒形智幸（花き）  
専門員 坪井真樹（作物）  
専門員 白石奈穂（果樹）☆  
技師 高橋弘紀（一）☆  
技師 友部きらら（一）

### 地域普及第二課（桜川市担当）

課長 八城和敏（野菜）  
技師 藺部 彰（作物）☆  
技師 田山桃佳（野菜）  
技師 小林拓朗（野菜）  
会計年度職員 加藤 誠 ☆

### 地域普及第三課（下妻市担当）

課長 小山田一郎（作物）  
専門員 安嶋紀幸（果樹）  
専門員 小口耕太郎（作物）  
主任 小松拓真（花き）☆  
会計年度職員 中山正人